

日本資本主義の上に反映する。日本資本主義は今種三期恐慌の最中にあるが、其の基礎の脆弱の故に恐慌の克服を一層困難ならしめる。

日本資本主義は巨大な國家資本を支柱として其恐慌を乗りこえた。今や國家財政の破綻と國家資本の回湯の故に其の支柱は崩れへて居る。

更に日本資本主義は半封建的農業を搾取源泉として發展して来た。然るに農産物價格の破局的な暴落と相對的に加重する致命的な負擔に農民大衆は飢餓窮乏のどん底に喘いでゐる。今や逆に農業は日本資本主義發展の及利物は転化した。

日本資本主義は恐慌を切り抜けんが爲め、産業合理化と、通貨膨張の清算を徹底的に遂行せんとする。然るに其の結果は生産力の増大を人為的に制約することに依り一般大衆の収奪現象となり、失業者の激増となり、それは大衆の購買力の喪失を招き小資本企業への倒壊に依つて恐慌を深め強固ならざる金融機構を持つ金融資本の運命に影響する。而もそれを緩和せんとする試は矛盾を擴大再生産する事に依り將來の危機を一層に鋭くする。

斯くの如く國內市場に行き詰れる日本資本主義は、過剰資本と過剰生産力の掃け口を海外市場に求めんとする。然るに等しく海外市場を求めると對立と限なく張りめぐらされたる関税の障壁と、殖民地、半殖民地の資本主義の抬頭と労働者、農民の反抗は日本資本主義の進出を阻害する。特に原料の供給地として

資本並に商品の輸出地として、数多くの特殊權益の保有地として日本資本主義の死活を扼する支那の最近の状勢は、アフリカ、自覺なき侵入とその背景に立つ南京政府の對立と、革命勢力の進出に依つて首肯されて居る。

茲に於てか市場の爭奪は此方の手段への決定を資本主義に平に深く侵らざる所以である。

斯る及面に於て金融資本の獨占化と國家權力との結合は著しく強められた。先に瀋陽内閣は金融資本の命に依つて金融政策を執行し、恐慌に依つて動搖する金融機構の防衛に忙したること努めた。その全き忠誠限りは、國家權力の金融資本への隷屬を如実に物語る。後述する若槻内閣は更にこの傾向に拍車をかけんとする。

一方日本ブルジョアは斯る政府の全體的な支持の下に恐慌を切り抜けんとして労働階級に對しては歇態態なる大量解雇、賃銀低下、労働激化、操業短縮、工場閉鎖等を取行し、以て労働階級を犠牲とする。賃銀の降激と軽減に狂奔して居る。刻々に優善養食せられつゝある生存権を防衛せんが爲め労働階級は農民階級と共にあらゆる彈壓の砲火を浴びて到る所漸中の激戦を展開して居る。

最近に於けるストライキ件数とその参加人数は記録的な高さを示して居る。又ならずその性質と範圍も労働階級の闘争力の増大傾向を示して居る。本年に入つ